

委員会設置提案書

提案者 溝上 陽子

| | |
|------------------------|--|
| 委員会の名称 | Virtual Realityにおける光環境評価に関する研究調査委員会 |
| 英文表記 | Research Committee on Lighting Environment Evaluation in Virtual Reality |
| 事業部門 | 照明に関する研究・調査事業 |
| 関連常置委員会名 | 分科会運営委員会 |
| 設置の趣旨 | VR技術の発展によりVR体験はあたかも現実であるかのように感じる事が可能である。LED光源の普及にともない照明環境の多様化が進む昨今では、光環境評価で求められる照明・環境条件が複雑化しており、VRを光環境評価へ活用することは、これらの課題に対し効率的かつ効果的なアプローチであると考えられる。しかし、VR技術を使用するハードルは高く光環境評価への活用は限定的である。本委員会では、関連文献や研究事例を調査し、光環境評価に適したVR環境や必要な装置スペック要件を整理する。また、利点や課題点を示し、VR技術を光環境評価に活用するために必要な要件や指針を示すことを目的とする。 |
| 予測される成果 | VR技術の使用における課題や押さえるべき特性を整理して明確化できる。また、将来的に光環境評価でVR技術を活用するために必要な要件や指針を提供する。 |
| 成果のフォローアップ (会員への還元) | 委員会活動期間終了後に報告書を作成する。また、公開研究会を開催し、委員会活動により得られた成果を報告する。 |
| 委員会の構成 (氏名：所属) | 委員長：田代知範(静岡大) 幹事：三宅博行(Arup), 八田和洋(パナソニック), 櫻井将人(静岡理工科大) 委員：佐野智美(建研), 清川宏暁(埼玉大), ほか10名程度 |
| 設置期間 | 2024年4月～2026年3月 |
| 委員会開回数/年 | 4回/年程度 |
| 活動計画 | 1. 研究事例と関連研究の調査 2. 光環境評価に適したVR環境の調査 3. 光環境評価に必要な装置スペック要件の明確化 4. 現状の問題点と解決すべき課題の明確化 5. VRと光環境評価に関する報告書の作成 |
| 経費 委員等の旅費の支給対象の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有(理由:委員の旅費) 支給対象者名:大学関係者 <input type="checkbox"/> 無 |
| 備考 | |

| | |
|--------|----------|
| 理事会の承認 | 承認 年 月 日 |
|--------|----------|